

**仙台市高齢者保健福祉計画
策定のための実態調査報告書
(速報版)**

【高齢者一般調査】

令和8年3月

仙台市

調査の実施概要

1 調査目的

仙台市高齢者保健福祉計画策定のための実態調査（高齢者一般調査）は、65歳以上の高齢者の生活実態や、高齢者福祉サービスの利用動向及び今後の利用意向等を把握し、次期高齢者保健福祉計画（計画期間：令和9年度～令和11年度）の策定にあたっての基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査概要

調査対象者	令和7年9月末の時点において、仙台市介護保険被保険者資格を有している一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者（約27万人）から調査区域（53カ所）ごとに無作為抽出した方	11,700人
調査方法	郵送方法にて実施（調査対象者に調査票を郵送し、記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送）	
調査基準日	令和7年11月1日	
調査期間	令和7年10月31日～11月26日	
調査票の設問内容	1 調査対象者の属性について	
	2 家族構成や生活状況について	
	3 からだを動かすことについて	
	4 食べることについて	
	5 毎日の生活について	
	6 地域での活動について	
	7 たすけあいについて	
	8 高齢者を支援する仕事やボランティア活動について	
	9 健康について	
	10 健康づくりについて	
	11 認知症について	
	12 在宅生活について	
	13 地域包括支援センターの利用について	
	14 スマートフォン・パソコン等について	
	15 高齢者福祉サービスについて	
	16 終活について	
	17 仙台市への意見・要望について	

コメントの追加 [室井1]: 修正

コメントの追加 [室井2]: 修正

コメントの追加 [室井3]: 修正

コメントの追加 [室井4]: 修正

コメントの追加 [室井5]: 「18 オンライン回答への利用意向について」削除

3 調査の回答状況

調査票区分	配付数	有効回収数	有効回収率	集計対象数	集計対象率
高齢者保健福祉計画策定のための実態調査	11,700 人	8,870 人	75.8%	8,820 人	75.4%

※有効回収数とは、郵送による回答を収受した数で、そのうち調査ができない（「仙台市外に転居」「死亡」等）と回答した方を除いたものを集計対象数としています。なお、調査ができないと回答しながらも、問1以降の設問に回答があった場合は、有効回答とみなし、集計対象数に含めています。

コメントの追加 [室井6]: 修正

コメントの追加 [室井7]: 注釈 修正

4 報告書を読む際の留意点

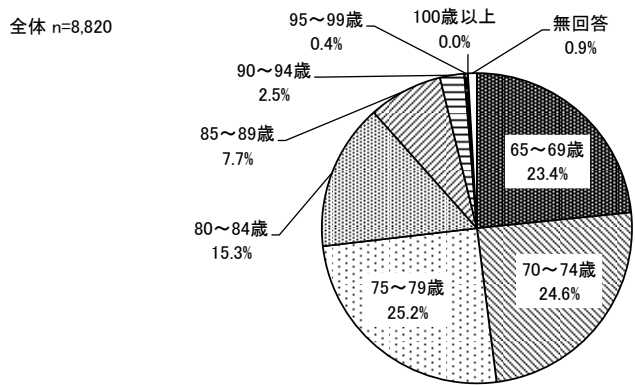
- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- (4) クロス集計は、無回答を除いているため、回答者数の合計が全体と一致しない場合があります。
- (5) 図表及び文章中では、選択肢の語句を一部省略している場合があります。
- (6) クロス集計の分析では、有意差がみられる結果に対して、本文中では言及しています。また、「n」が少数である場合、比率が変動しやすく、分析には適さないため、文章中では言及していない場合があります。なお、結果は参考値として示すにとどめている場合があります。

コメントの追加 [室井8]: 追加

調査結果の概要

1 年齢

年齢については、「75～79 歳」が 25.2%で最も高く、次いで「70～74 歳」が 24.6%、「65～69 歳」が 23.4%となっています。



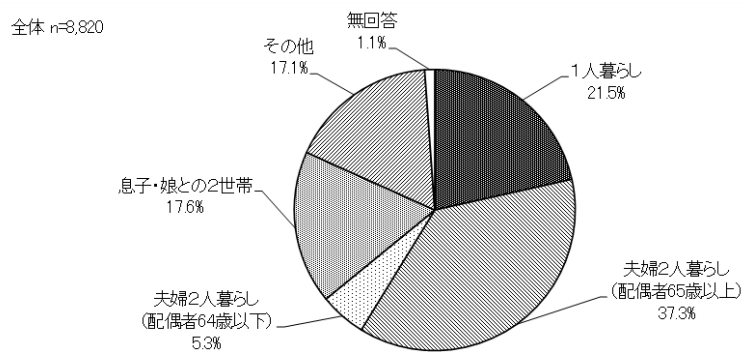
《参考》

(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
65～69歳	24.6	23.4	△ 1.2
70～74歳	29.5	24.6	△ 4.9
75～79歳	20.8	25.2	4.4
80～84歳	14.2	15.3	1.1
85～89歳	7.6	7.7	0.1
90～94歳	2.6	2.5	△ 0.1
95～99歳	0.3	0.4	0.1
100歳以上	0.0	0.0	0.0
無回答	0.3	0.9	0.6

2 家族構成

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が37.3%で最も高く、次いで「1人暮らし」が21.5%、「息子・娘との2世帯」が17.6%となっています。



《参考》

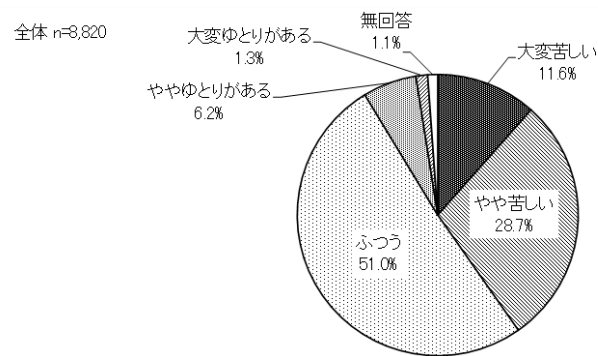
(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
1人暮らし	18.4	21.5	3.1
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	40.5	37.3	△ 3.2
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4.4	5.3	0.9
息子・娘との2世帯	18.4	17.6	△ 0.8
その他	16.7	17.1	0.4
無回答	1.6	1.1	△ 0.5

3 経済的な暮らしの状況

暮らしの経済的な状況については、「ふつう」が51.0%で最も高くなっています。また、「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計値《苦しい》が40.3%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」の合計値《ゆとりがある》が7.5%と、「苦しい」が32.8ポイント上回っています。

コメントの追加 [室井9]: 追加



《参考》

(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
大変苦しい	8.6	11.6	3.0
やや苦しい	27.3	28.7	1.4
ふつう	54.9	51.0	△ 3.9
ややゆとりがある	6.5	6.2	△ 0.3
大変ゆとりがある	1.1	1.3	0.2
無回答	1.6	1.1	△ 0.5

■調査区域別

調査区域別でみると、《苦しい》は、小松島が54.7%で最も高く、次いで高砂が53.4%、西多賀が50.0%、東中田が49.6%、岩切が49.0%となっています。一方で、《ゆとりがある》は、上杉が16.7%で最も高く、次いで寺岡が14.1%、国見が13.5%、将監が13.4%、木町通が13.0%となっています。

コメントの追加 [室井10]: ■調査区域別 追加

※本文 黒文字反映

	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	《苦しい》	《ゆとりがある》
全体 n=8,820	11.6%	28.7%	51.0%	6.2%	1.3%	1.1%	40.3%	7.5%
五橋 n=191	11.5%	27.2%	47.1%	8.9%	3.1%	2.1%	38.7%	12.0%
上杉 n=162	9.9%	28.4%	45.1%	13.6%	3.1%	0.0%	38.3%	16.7%
国見 n=192	11.5%	27.1%	47.4%	10.4%	3.1%	0.5%	38.6%	13.5%
木町通 n=161	12.4%	21.7%	52.8%	8.7%	4.3%	0.0%	34.1%	13.0%
双美ヶ丘 n=162	8.6%	24.7%	57.4%	8.0%	0.6%	0.6%	33.3%	8.6%
葉山 n=162	13.0%	31.5%	44.4%	8.6%	0.6%	1.9%	44.5%	9.2%
台原 n=167	8.4%	34.1%	47.3%	7.2%	1.2%	1.8%	42.5%	8.4%
花京院 n=165	15.8%	29.1%	46.1%	5.5%	2.4%	1.2%	44.9%	7.9%
大沢広陵 n=158	11.4%	33.5%	50.6%	2.5%	1.3%	0.6%	44.9%	3.8%
あやし n=215	14.0%	30.2%	48.8%	5.1%	0.5%	1.4%	44.2%	5.6%
国見ヶ丘 n=198	8.6%	33.8%	51.0%	4.5%	1.0%	1.0%	42.4%	5.5%
南吉成 n=171	12.9%	31.0%	49.7%	4.7%	0.6%	1.2%	43.9%	5.3%
桜ヶ丘 n=157	10.2%	28.7%	53.5%	5.1%	1.9%	0.6%	38.9%	7.0%
小松島 n=161	20.5%	34.2%	44.1%	0.6%	0.0%	0.6%	54.7%	0.6%
岩切 n=151	15.9%	33.1%	41.7%	6.6%	0.0%	2.6%	49.0%	6.6%
東仙台 n=140	8.6%	27.9%	56.4%	5.0%	0.0%	2.1%	36.5%	5.0%
宮城野 n=169	19.5%	28.4%	45.0%	3.6%	3.0%	0.6%	47.9%	6.6%
榎岡 n=170	7.6%	25.3%	55.9%	8.2%	2.4%	0.6%	32.9%	10.6%
高砂 n=187	17.6%	35.8%	41.7%	3.2%	1.6%	0.0%	53.4%	4.8%
福田町 n=165	15.2%	29.7%	46.7%	6.1%	1.2%	1.2%	44.9%	7.3%
燕沢 n=150	6.7%	32.7%	54.7%	4.0%	1.3%	0.7%	39.4%	5.3%
鶴ヶ谷 n=160	15.6%	30.6%	47.5%	3.1%	2.5%	0.6%	46.2%	5.6%
六郷 n=140	15.0%	33.6%	45.0%	4.3%	0.7%	1.4%	48.6%	5.0%
沖野 n=142	14.8%	25.4%	50.7%	8.5%	0.0%	0.7%	40.2%	8.5%
河原町 n=168	15.5%	27.4%	51.8%	4.2%	0.6%	0.6%	42.9%	4.8%
七郷 n=148	14.9%	29.1%	47.3%	6.1%	2.7%	0.0%	44.0%	8.8%
大和蒲町 n=161	8.1%	23.6%	60.9%	5.6%	1.9%	0.0%	31.7%	7.5%
遠見塚 n=164	9.8%	31.7%	51.8%	3.7%	1.2%	1.8%	41.5%	4.9%
愛宕橋 n=150	14.7%	26.0%	52.7%	6.7%	0.0%	0.0%	40.7%	6.7%
八木山 n=168	12.5%	29.2%	48.8%	8.3%	1.2%	0.0%	41.7%	9.5%
西多賀 n=144	13.9%	36.1%	42.4%	5.6%	0.7%	1.4%	50.0%	6.3%
長町 n=223	7.2%	29.6%	52.0%	9.4%	0.4%	1.3%	36.8%	9.8%
郡山 n=184	10.9%	28.3%	50.0%	7.1%	1.6%	2.2%	39.2%	8.7%
山田 n=202	13.9%	27.2%	52.0%	5.0%	1.5%	0.5%	41.1%	6.5%
西中田 n=166	12.0%	25.9%	56.0%	4.8%	0.6%	0.6%	37.9%	5.4%
中田 n=165	15.2%	33.3%	44.8%	4.2%	0.6%	1.8%	48.5%	4.8%
東中田 n=157	14.6%	35.0%	46.5%	3.2%	0.0%	0.6%	49.6%	3.2%
富沢 n=177	15.8%	24.9%	48.6%	5.6%	2.8%	2.3%	40.7%	8.4%
茂庭 n=151	15.2%	31.8%	48.3%	3.3%	0.7%	0.7%	47.0%	4.0%
秋保 n=138	13.0%	21.7%	59.4%	4.3%	0.7%	0.7%	34.7%	5.0%
泉中央 n=161	6.8%	25.5%	53.4%	9.3%	1.9%	3.1%	32.3%	11.2%
将監 n=193	8.3%	22.3%	54.4%	9.8%	3.6%	1.6%	30.6%	13.4%
寺岡 n=156	3.8%	23.7%	56.4%	12.2%	1.9%	1.9%	27.5%	14.1%
高森 n=164	6.7%	20.7%	62.2%	7.3%	1.2%	1.8%	27.4%	8.5%
松森 n=162	11.7%	24.7%	58.6%	3.7%	1.2%	0.0%	36.4%	4.9%
松陵 n=155	8.4%	29.0%	55.5%	6.5%	0.0%	0.6%	37.4%	6.5%
向陽台 n=151	8.6%	33.1%	47.7%	7.9%	0.0%	2.6%	41.7%	7.9%
南光台 n=168	6.0%	29.2%	56.5%	5.4%	0.6%	2.4%	35.2%	6.0%
八乙女 n=150	9.3%	29.3%	49.3%	9.3%	1.3%	1.3%	38.6%	10.6%
虹の丘・加茂 n=176	7.4%	25.0%	54.0%	7.4%	2.8%	3.4%	32.4%	10.2%
長命ヶ丘 n=162	6.8%	25.3%	61.7%	5.6%	0.6%	0.0%	32.1%	6.2%
根白石 n=179	11.2%	28.5%	54.7%	3.9%	0.0%	1.7%	39.7%	3.9%
南中山 n=161	8.1%	29.2%	56.5%	5.0%	0.6%	0.6%	37.3%	5.6%

3 機能別リスク該当者割合の分析

(1) 運動器機能

厚生労働省「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」（以下「国の手引き」という。）をもとに、以下の5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器機能低下のリスク該当者とした。

【判定設問】

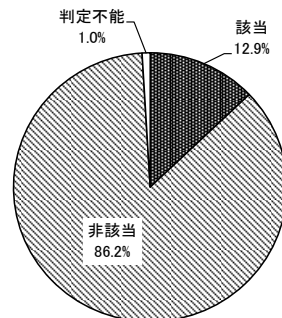
問番号	設問	該当する選択肢
問3（1）	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
問3（2）	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
問3（3）	15分位続けて歩いていますか	できない
問3（4）	過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある 1度ある
問3（5）	転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である やや不安である

コメントの追加 [室井11]: タイトル、本文修正

■リスク該当状況

運動器機能についての結果をみると、12.9%がリスク該当者となっています。

全体 n=8,820



コメントの追加 [室井12]: 本文修正

《参考》

(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
該当	11.8	12.9	1.1
非該当	88.2	86.2	△ 2.0
判定不能	0.1	1.0	0.9

■調査区域別

調査区域別でみると、「該当」は、遠見塚が22.0%で最も高く、次いで東中田が21.7%、小松島が19.3%、六郷が18.6%、愛宕橋が18.0%となっています。

		該当	非該当	判定不能
調査区域別	全体 n=8,820	12.9%	86.2%	1.0%
	五橋 n=191	10.5%	89.0%	0.5%
	上杉 n=162	11.1%	88.3%	0.6%
	国見 n=192	7.3%	91.7%	1.0%
	木町通 n=161	8.1%	90.7%	1.2%
	双葉ヶ丘 n=162	13.0%	85.8%	1.2%
	葉山 n=162	11.7%	87.7%	0.6%
	台原 n=167	16.2%	83.8%	0.0%
	花京院 n=165	10.9%	88.5%	0.6%
	大沢広陵 n=158	16.5%	83.5%	0.0%
	あやし n=215	14.0%	83.7%	2.3%
	国見ヶ丘 n=198	15.2%	82.3%	2.5%
	南吉成 n=171	15.8%	83.6%	0.6%
	桜ヶ丘 n=157	12.7%	85.4%	1.9%
	小松島 n=161	19.3%	80.1%	0.6%
	岩切 n=151	12.6%	82.8%	4.6%
	東仙台 n=140	10.7%	89.3%	0.0%
	宮城野 n=169	13.6%	86.4%	0.0%
	榴岡 n=170	12.4%	86.5%	1.2%
	高砂 n=187	17.1%	82.4%	0.5%
	福田町 n=165	14.5%	84.2%	1.2%
	燕沢 n=150	16.0%	82.7%	1.3%
	鶴ヶ谷 n=160	13.8%	86.3%	0.0%
	六郷 n=140	18.6%	80.7%	0.7%
	沖野 n=142	14.1%	83.8%	2.1%
	河原町 n=168	13.7%	85.1%	1.2%
	七郷 n=148	16.2%	83.1%	0.7%
	大和蒲町 n=161	6.2%	93.8%	0.0%
	遠見塚 n=164	22.0%	76.8%	1.2%
	愛宕橋 n=150	18.0%	81.3%	0.7%
	八木山 n=168	7.1%	92.9%	0.0%
	西多賀 n=144	16.7%	82.6%	0.7%
	長町 n=223	12.1%	85.7%	2.2%
	郡山 n=184	14.1%	84.2%	1.6%
	山田 n=202	12.9%	86.6%	0.5%
	西中田 n=166	10.2%	89.2%	0.6%
	中田 n=165	10.3%	89.7%	0.0%
	東中田 n=157	21.7%	78.3%	0.0%
	富沢 n=177	11.9%	87.6%	0.6%
	茂庭 n=151	16.6%	81.5%	2.0%
	秋保 n=138	13.0%	86.2%	0.7%
	泉中央 n=161	6.2%	91.9%	1.9%
	将監 n=193	7.3%	92.7%	0.0%
	寺岡 n=156	6.4%	93.6%	0.0%
	高森 n=164	9.1%	89.6%	1.2%
	松森 n=162	10.5%	89.5%	0.0%
	松陵 n=155	8.4%	91.0%	0.6%
	向陽台 n=151	15.2%	82.8%	2.0%
	南光台 n=168	17.9%	82.1%	0.0%
	八乙女 n=150	11.3%	88.7%	0.0%
	虹の丘・加茂 n=176	7.4%	90.3%	2.3%
	長命ヶ丘 n=162	16.7%	82.1%	1.2%
	根白石 n=179	14.0%	83.8%	2.2%
	南中山 n=161	7.5%	92.5%	0.0%

(2) 閉じこもり

国の手引きをもとに、以下の項目に該当する人を閉じこもりのリスク該当者としました。

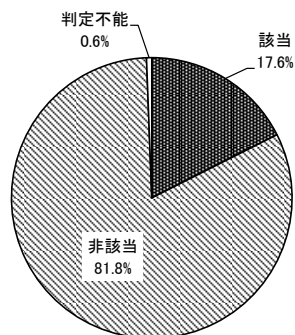
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3 (6)	週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない 週1回

■リスク該当状況

閉じこもりについての結果をみると、17.6%がリスク該当者となっています。

全体 n=8,820



コメントの追加 [室井13]: 本文修正

《参考》

(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
該当	16.6	17.6	1.0
非該当	81.8	81.8	0.0
判定不能	1.6	0.6	△ 1.0

■調査区域別

調査区域別でみると、「該当」は、大沢広陵が25.9%で最も高く、次いで七郷が24.3%、愛宕橋、根白石がともに24.0%、茂庭が23.8%、六郷が23.6%となっています。

		該当	非該当	判定不能
調査区域別	全体 n=8,820	17.6%	81.8%	0.6%
	五橋 n=191	8.9%	90.1%	1.0%
	上杉 n=162	13.0%	86.4%	0.6%
	国見 n=192	15.6%	84.4%	0.0%
	木町通 n=161	8.7%	90.7%	0.6%
	双葉ヶ丘 n=162	22.8%	77.2%	0.0%
	葉山 n=162	19.1%	79.6%	1.2%
	台原 n=167	19.2%	80.8%	0.0%
	花京院 n=165	13.9%	85.5%	0.6%
	大沢広陵 n=158	25.9%	73.4%	0.6%
	あやし n=215	20.0%	78.6%	1.4%
	国見ヶ丘 n=198	21.2%	77.8%	1.0%
	南吉成 n=171	18.7%	80.7%	0.6%
	桜ヶ丘 n=157	19.1%	80.9%	0.0%
	小松島 n=161	16.1%	83.2%	0.6%
	岩切 n=151	17.9%	79.5%	2.6%
	東仙台 n=140	16.4%	82.9%	0.7%
	宮城野 n=169	16.0%	84.0%	0.0%
	榴岡 n=170	17.6%	81.8%	0.6%
	高砂 n=187	16.6%	82.9%	0.5%
	福田町 n=165	20.6%	79.4%	0.0%
	燕沢 n=150	20.0%	78.7%	1.3%
	鶴ヶ谷 n=160	16.9%	81.9%	1.3%
	六郷 n=140	23.6%	76.4%	0.0%
	沖野 n=142	22.5%	77.5%	0.0%
	河原町 n=168	13.7%	85.7%	0.6%
	七郷 n=148	24.3%	75.7%	0.0%
	大和蒲町 n=161	9.3%	90.7%	0.0%
	遠見塚 n=164	18.9%	79.9%	1.2%
	愛宕橋 n=150	24.0%	76.0%	0.0%
	八木山 n=168	16.1%	83.3%	0.6%
	西多賀 n=144	18.1%	81.3%	0.7%
	長町 n=223	10.3%	89.2%	0.4%
	郡山 n=184	16.3%	82.1%	1.6%
	山田 n=202	22.3%	77.2%	0.5%
	西中田 n=166	16.9%	83.1%	0.0%
	中田 n=165	13.9%	86.1%	0.0%
	東中田 n=157	21.0%	78.3%	0.6%
	富沢 n=177	11.9%	87.6%	0.6%
	茂庭 n=151	23.8%	76.2%	0.0%
	秋保 n=138	21.0%	78.3%	0.7%
	泉中央 n=161	17.4%	81.4%	1.2%
	将監 n=193	10.9%	89.1%	0.0%
	寺岡 n=156	13.5%	86.5%	0.0%
	高森 n=164	23.2%	76.2%	0.6%
	松森 n=162	12.3%	87.7%	0.0%
	松陵 n=155	16.8%	83.2%	0.0%
	向陽台 n=151	17.9%	80.1%	2.0%
	南光台 n=168	21.4%	78.6%	0.0%
	八乙女 n=150	15.3%	84.7%	0.0%
	虹の丘・加茂 n=176	14.8%	82.4%	2.8%
	長命ヶ丘 n=162	20.4%	79.6%	0.0%
	根白石 n=179	24.0%	74.3%	1.7%
	南中山 n=161	17.4%	82.6%	0.0%

(3) 転倒

国の手引きをもとに、以下の項目に該当する人を転倒のリスク該当者としました。

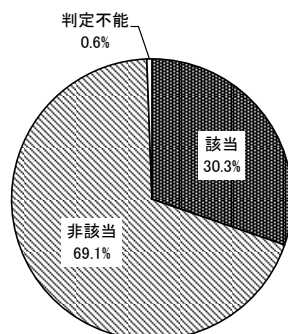
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある 1度ある

■リスク該当状況

転倒リスクについての結果をみると、30.3%がリスク該当者となっています。

全体 n=8,820



コメントの追加 [室井14]: 本文修正

《参考》

(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7-R4)
該当	27.8	30.3	2.5
非該当	71.5	69.1	△ 2.4
判定不能	0.7	0.6	△ 0.1

■調査区域別

調査区域別でみると、「該当」は、国見ヶ丘が38.4%で最も高く、次いで高砂が37.4%、大沢広陵が37.3%、東中田が36.9%、南光台が36.3%となっています。

		該当	非該当	判定不能
調査区域別	全体 n=8,820	30.3%	69.1%	0.6%
	五橋 n=191	28.8%	70.2%	1.0%
	上杉 n=162	29.0%	71.0%	0.0%
	国見 n=192	30.7%	68.2%	1.0%
	木町通 n=161	25.5%	73.9%	0.6%
	双葉ヶ丘 n=162	34.0%	66.0%	0.0%
	葉山 n=162	29.6%	69.8%	0.6%
	台原 n=167	33.5%	66.5%	0.0%
	花京院 n=165	31.5%	67.9%	0.6%
	大沢広陵 n=158	37.3%	62.7%	0.0%
	あやし n=215	29.3%	69.8%	1.4%
	国見ヶ丘 n=198	38.4%	61.6%	0.0%
	南吉成 n=171	32.7%	66.1%	1.2%
	桜ヶ丘 n=157	26.8%	73.2%	0.0%
	小松島 n=161	24.8%	75.2%	0.0%
	岩切 n=151	31.8%	66.9%	1.3%
	東仙台 n=140	30.7%	69.3%	0.0%
	宮城野 n=169	29.0%	71.0%	0.0%
	榴岡 n=170	32.4%	65.9%	1.8%
	高砂 n=187	37.4%	62.6%	0.0%
	福田町 n=165	29.7%	70.3%	0.0%
	燕沢 n=150	26.7%	72.7%	0.7%
	鶴ヶ谷 n=160	31.9%	68.1%	0.0%
	六郷 n=140	27.1%	72.9%	0.0%
	沖野 n=142	30.3%	68.8%	1.4%
	河原町 n=168	32.7%	66.1%	1.2%
	七郷 n=148	35.1%	64.9%	0.0%
	大和蒲町 n=161	23.6%	76.4%	0.0%
	遠見塚 n=164	29.3%	70.1%	0.6%
	愛宕橋 n=150	32.7%	67.3%	0.0%
	八木山 n=168	33.3%	66.7%	0.0%
	西多賀 n=144	27.1%	72.2%	0.7%
	長町 n=223	27.8%	70.9%	1.3%
	郡山 n=184	32.1%	65.8%	2.2%
	山田 n=202	30.7%	68.8%	0.5%
	西中田 n=166	30.1%	69.9%	0.0%
	中田 n=165	28.5%	71.5%	0.0%
	東中田 n=157	36.9%	63.1%	0.0%
	富沢 n=177	24.9%	74.6%	0.6%
	茂庭 n=151	31.8%	66.9%	1.3%
	秋保 n=138	35.5%	63.8%	0.7%
	泉中央 n=161	25.5%	73.3%	1.2%
	将監 n=193	24.9%	75.1%	0.0%
	寺岡 n=156	25.0%	75.0%	0.0%
	高森 n=164	31.7%	68.3%	0.0%
	松森 n=162	23.5%	76.5%	0.0%
	松陵 n=155	24.5%	75.5%	0.0%
	向陽台 n=151	32.5%	66.2%	1.3%
	南光台 n=168	36.3%	63.1%	0.6%
	八乙女 n=150	32.0%	68.0%	0.0%
	虹の丘・加茂 n=176	28.4%	68.2%	3.4%
	長命ヶ丘 n=162	32.1%	67.3%	0.6%
	根白石 n=179	30.2%	68.7%	1.1%
	南中山 n=161	26.1%	73.9%	0.0%

(4) 低栄養

身長・体重からBMIを算出し、18.5未満の人を低栄養のリスク該当者としてしました。

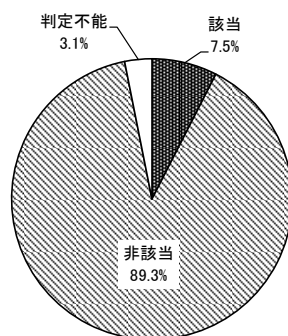
【判定設問】

問番号	設問	該当するBMI
問4（1）	身長・体重をご記入ください	BMI 18.5未満

■リスク該当状況

低栄養についての結果をみると、7.5%がリスク該当者となっています。

全体 n=8,820



《参考》

(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
該当	7.5	7.5	0.0
非該当	89.5	89.3	△ 0.2
判定不能	2.9	3.1	0.2

コメントの追加 [室井15]: タイトル、本文修正

コメントの追加 [室井16]: 本文修正

■調査区域別

調査区域別でみると、「該当」は、榴岡、泉中央がともに11.2%で最も高く、次いで上杉が11.1%、木町通が10.6%、国見ヶ丘、河原町がともに10.1%、双葉ヶ丘が9.9%となっています。

		該当	非該当	判定不能
	全体 n=8,820	7.5%	89.3%	3.1%
調査区域別	五橋 n=191	9.4%	86.4%	4.2%
	上杉 n=162	11.1%	86.4%	2.5%
	国見 n=192	8.3%	88.5%	3.1%
	木町通 n=161	10.6%	87.0%	2.5%
	双葉ヶ丘 n=162	9.9%	88.3%	1.9%
	葵山 n=162	8.0%	89.5%	2.5%
	台原 n=167	6.6%	89.8%	3.6%
	花京院 n=165	6.1%	92.1%	1.8%
	大沢広陵 n=158	8.9%	89.9%	1.3%
	あやし n=215	5.6%	90.7%	3.7%
	国見ヶ丘 n=198	10.1%	86.9%	3.0%
	南吉成 n=171	4.1%	93.0%	2.9%
	桜ヶ丘 n=157	8.3%	87.3%	4.5%
	小松島 n=161	6.2%	91.3%	2.5%
	岩切 n=151	6.6%	89.4%	4.0%
	東仙台 n=140	9.3%	89.3%	1.4%
	宮城野 n=169	8.3%	88.8%	3.0%
	榴岡 n=170	11.2%	85.3%	3.5%
	高砂 n=187	9.1%	88.2%	2.7%
	福田町 n=165	9.7%	86.7%	3.6%
	燕沢 n=150	7.3%	89.3%	3.3%
	鶴ヶ谷 n=160	8.8%	87.5%	3.8%
	六郷 n=140	5.0%	90.7%	4.3%
	沖野 n=142	6.3%	92.3%	1.4%
	河原町 n=168	10.1%	86.3%	3.6%
	七郷 n=148	4.7%	89.9%	5.4%
	大和蒲町 n=161	8.1%	89.4%	2.5%
	遠見塚 n=164	6.7%	87.2%	6.1%
	愛宕橋 n=150	5.3%	93.3%	1.3%
	八木山 n=168	6.5%	89.3%	4.2%
	西多賀 n=144	9.0%	88.2%	2.8%
	長町 n=223	7.2%	88.3%	4.5%
	郡山 n=184	7.6%	87.0%	5.4%
	山田 n=202	6.4%	91.6%	2.0%
	西中田 n=166	9.6%	86.1%	4.2%
	中田 n=165	7.9%	86.7%	5.5%
	東中田 n=157	7.0%	91.1%	1.9%
	富沢 n=177	2.8%	95.5%	1.7%
	茂庭 n=151	5.3%	93.4%	1.3%
	秋保 n=138	6.5%	90.6%	2.9%
	泉中央 n=161	11.2%	83.9%	5.0%
	将監 n=193	4.7%	91.2%	4.1%
	寺岡 n=156	4.5%	89.7%	5.8%
	高森 n=164	9.1%	90.2%	0.6%
	松森 n=162	8.0%	88.3%	3.7%
	松陵 n=155	5.2%	93.5%	1.3%
	向陽台 n=151	8.6%	88.7%	2.6%
	南光台 n=168	8.3%	88.7%	3.0%
	八乙女 n=150	8.0%	91.3%	0.7%
	虹の丘・加茂 n=176	8.5%	86.4%	5.1%
	長命ヶ丘 n=162	9.3%	89.5%	1.2%
	根白石 n=179	3.4%	94.4%	2.2%
	南中山 n=161	5.6%	91.9%	2.5%

■だれかと食事をとにもする頻度別

だれかと食事をとにもする頻度別でみると、「該当」は、ほとんどないが9.8%で最も高く、次いで年に何度かあるが9.5%、月に何度かあるが7.7%となっています。

		該当	非該当	判定不能
食事 頻 度 別	全体 n=8,820	7.5%	89.3%	3.1%
	毎日ある n=4,883	7.0%	90.9%	2.0%
	週に何度かある n=823	6.3%	91.4%	2.3%
	月に何度かある n=1,314	7.7%	90.3%	2.1%
	年に何度かある n=919	9.5%	87.9%	2.6%
	ほとんどない n=773	9.8%	85.5%	4.7%

コメントの追加 [室井17]: ■だれかと食事をとにもする頻度別 追加

※本文 黒文字反映

コメントの追加 [室井18]: 追加

(5) 認知機能

国の手引きをもとに、以下の項目に該当する人を認知機能低下のリスク該当者としました。

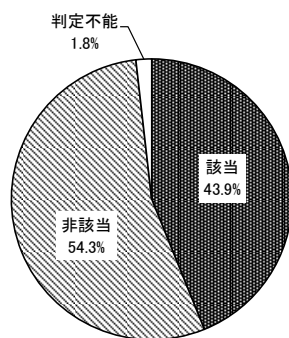
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問5（1）	物忘れが多いと感じますか	はい

■リスク該当状況

認知機能についての結果をみると、43.9%がリスク該当者となっています。

全体 n=8,820



《参考》

(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
該当	42.6	43.9	1.3
非該当	55.7	54.3	△ 1.4
判定不能	1.7	1.8	0.1

コメントの追加 [室井19]: 本文修正

■調査区域別 削除

コメントの追加 [室井20]: 本文修正

■会等への参加状況別

会等への参加状況別（《参加している》）でみると、「該当」は、⑤介護予防のための通いの場が59.3%で最も高く、次いで⑥老人クラブが56.7%、③趣味関係のグループが44.7%となっています。

コメントの追加 [室井21]: ■会等への参加状況別 追加
※本文 黒文字反映

			該当	非該当	判定不能
会等への参加状況別	全体 n=8,820		43.9%	54.3%	1.8%
	①ボランティアのグループ	《参加している》n=1,091	44.1%	55.4%	0.5%
	②スポーツ関係のグループやクラブ	《参加している》n=1,965	42.6%	55.8%	1.5%
	③趣味関係のグループ	《参加している》n=2,308	44.7%	53.9%	1.3%
	④学習・教養サークル	《参加している》n=827	44.6%	53.8%	1.6%
	⑤介護予防のための通いの場	《参加している》n=536	59.3%	39.4%	1.3%
	⑥老人クラブ	《参加している》n=430	56.7%	41.6%	1.6%
	⑦町内会・自治会	《参加している》n=2,271	43.6%	55.2%	1.2%
	⑧収入のある仕事	《参加している》n=2,356	38.1%	60.7%	1.2%

※《参加している》のn値は、「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計

(6) うつ

国の手引きをもとに、以下の2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者としてしました。

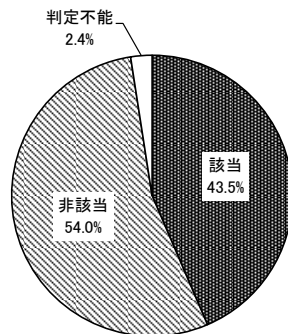
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問9 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
問9 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

■リスク該当状況

うつについての結果をみると、43.5%がリスク該当者となっています。

全体 n=8,820



《参考》

(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7-R4)
該当	44.4	43.5	△ 0.9
非該当	53.4	54.0	0.6
判定不能	2.1	2.4	0.3

コメントの追加 [室井22]: 国の手引きにおいて「うつ」の記載もあるため、削除せずに残しております。

(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

介護予防・日常生活圏域二エース調査実施の手引き
令和7年8月 56 ページ掲載

コメントの追加 [室井23]: 本文修正

■調査区域別

調査区域別でみると、「該当」は、台原が53.3%で最も高く、次いであやしが53.0%、長命ヶ丘が51.2%、国見ヶ丘が49.5%、大和蒲町が49.1%となっています。

		該当	非該当	判定不能
調査区域別	全体 n=8,820	43.5%	54.0%	2.4%
	五橋 n=191	47.1%	52.4%	0.5%
	上杉 n=162	42.0%	56.8%	1.2%
	国見 n=192	47.4%	51.0%	1.6%
	木町通 n=161	43.5%	55.9%	0.6%
	双葉ヶ丘 n=162	43.2%	54.9%	1.9%
	葉山 n=162	46.3%	51.9%	1.9%
	台原 n=167	53.3%	42.5%	4.2%
	花京院 n=165	47.3%	49.7%	3.0%
	大沢広陵 n=158	48.1%	48.7%	3.2%
	あやし n=215	53.0%	45.1%	1.9%
	国見ヶ丘 n=198	49.5%	47.0%	3.5%
	南吉成 n=171	48.0%	50.3%	1.8%
	桜ヶ丘 n=157	40.1%	57.3%	2.5%
	小松島 n=161	47.2%	52.2%	0.6%
	岩切 n=151	43.0%	53.6%	3.3%
	東仙台 n=140	37.9%	55.7%	6.4%
	宮城野 n=169	44.4%	53.3%	2.4%
	榴岡 n=170	44.7%	52.4%	2.9%
	高砂 n=187	48.7%	48.7%	2.7%
	福田町 n=165	41.8%	55.8%	2.4%
	燕沢 n=150	43.3%	55.3%	1.3%
	鶴ヶ谷 n=160	44.4%	54.4%	1.3%
	六郷 n=140	45.7%	52.1%	2.1%
	沖野 n=142	38.0%	60.6%	1.4%
	河原町 n=168	47.0%	50.6%	2.4%
	七郷 n=148	42.6%	54.1%	3.4%
	大和蒲町 n=161	49.1%	49.1%	1.9%
	遠見塚 n=164	43.9%	52.4%	3.7%
	愛宕橋 n=150	46.0%	52.7%	1.3%
	八木山 n=168	39.9%	58.3%	1.8%
	西多賀 n=144	38.9%	59.0%	2.1%
	長町 n=223	40.8%	57.8%	1.3%
	郡山 n=184	42.9%	53.8%	3.3%
	山田 n=202	40.6%	56.4%	3.0%
	西中田 n=166	39.8%	57.2%	3.0%
	中田 n=165	43.6%	53.3%	3.0%
	東中田 n=157	45.2%	52.9%	1.9%
	富沢 n=177	42.4%	56.5%	1.1%
	茂庭 n=151	43.7%	53.0%	3.3%
	秋保 n=138	37.7%	58.7%	3.6%
	泉中央 n=161	39.8%	57.1%	3.1%
	将監 n=193	37.8%	59.6%	2.6%
	寺岡 n=156	38.5%	56.4%	5.1%
	高森 n=164	39.0%	57.9%	3.0%
	松森 n=162	39.5%	58.0%	2.5%
	松陵 n=155	38.7%	60.0%	1.3%
	向陽台 n=151	42.4%	53.6%	4.0%
	南光台 n=168	38.1%	58.9%	3.0%
	八乙女 n=150	44.0%	55.3%	0.7%
	虹の丘・加茂 n=176	40.9%	55.7%	3.4%
	長命ヶ丘 n=162	51.2%	45.1%	3.7%
	根白石 n=179	37.4%	59.8%	2.8%
	南中山 n=161	44.1%	55.3%	0.6%

(7) 手段的自立度 (IADL)

活動的な日常生活を送る上での動作として、手段的自立度＝IADL (Instrumental Activities of Daily Living) の低下を問う設問が5問あり、「できない」を1つ以上選択した人をIADLの低下リスク該当者としてしました。

【判定設問】

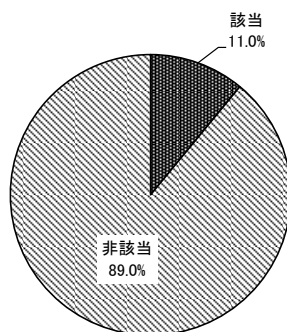
問番号	設問	該当する選択肢
問5 (2)	バスや電車を使って1人で外出していますか	できない
問5 (3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	できない
問5 (4)	自分で食事の用意をしていますか	できない
問5 (5)	自分で請求書の支払いをしていますか	できない
問5 (6)	自分で預貯金のおし入れをしていますか	できない

コメントの追加 [室井24]: 本文修正

■リスク該当状況

手段的自立度 (IADL) についての結果をみると、11.0%がリスク該当者となっています。

全体 n=8,820



コメントの追加 [室井25]: 本文修正

《参考》

(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
該当	13.8	11.0	△ 2.8
非該当	86.1	89.0	2.9
判定不能	0.0	0.0	0.0

■調査区域別

調査区域別でみると、「該当」は、東中田が19.7%で最も高く、次いで岩切が19.2%、小松島が16.8%、根白石が15.6%、福田町が15.2%となっています。

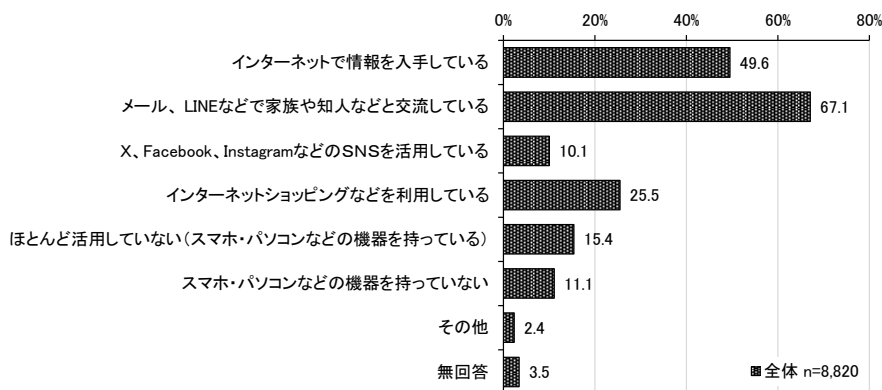
		該当	非該当
調査区域別	全体 n=8,820	11.0%	89.0%
	五橋 n=191	10.5%	89.5%
	上杉 n=162	12.3%	87.7%
	国見 n=192	9.9%	90.1%
	木町通 n=161	7.5%	92.5%
	双葉ヶ丘 n=162	6.8%	93.2%
	葉山 n=162	11.1%	88.9%
	台原 n=167	10.2%	89.8%
	花京院 n=165	10.9%	89.1%
	大沢広陵 n=158	13.9%	86.1%
	あやし n=215	13.5%	86.5%
	国見ヶ丘 n=198	12.1%	87.9%
	南吉成 n=171	7.6%	92.4%
	桜ヶ丘 n=157	10.8%	89.2%
	小松島 n=161	16.8%	83.2%
	岩切 n=151	19.2%	80.8%
	東仙台 n=140	7.9%	92.1%
	宮城野 n=169	10.7%	89.3%
	榴岡 n=170	9.4%	90.6%
	高砂 n=187	12.8%	87.2%
	福田町 n=165	15.2%	84.8%
	燕沢 n=150	12.7%	87.3%
	鶴ヶ谷 n=160	11.9%	88.1%
	六郷 n=140	13.6%	86.4%
	沖野 n=142	13.4%	86.6%
	河原町 n=168	12.5%	87.5%
	七郷 n=148	14.9%	85.1%
	大和蒲町 n=161	6.8%	93.2%
	遠見塚 n=164	12.8%	87.2%
	愛宕橋 n=150	14.0%	86.0%
	八木山 n=168	8.9%	91.1%
	西多賀 n=144	9.7%	90.3%
	長町 n=223	10.3%	89.7%
	郡山 n=184	9.2%	90.8%
	山田 n=202	9.4%	90.6%
	西中田 n=166	10.8%	89.2%
	中田 n=165	13.9%	86.1%
	東中田 n=157	19.7%	80.3%
	富沢 n=177	14.1%	85.9%
	茂庭 n=151	13.2%	86.8%
	秋保 n=138	13.0%	87.0%
	泉中央 n=161	8.1%	91.9%
	将監 n=193	8.8%	91.2%
	寺岡 n=156	5.1%	94.9%
	高森 n=164	7.9%	92.1%
	松森 n=162	3.7%	96.3%
	松陵 n=155	9.0%	91.0%
	向陽台 n=151	10.6%	89.4%
	南光台 n=168	10.1%	89.9%
	八乙女 n=150	7.3%	92.7%
	虹の丘・加茂 n=176	5.7%	94.3%
	長命ヶ丘 n=162	8.6%	91.4%
	根白石 n=179	15.6%	84.4%
	南中山 n=161	8.7%	91.3%

5 スマートフォン・パソコン等について

(1) スマートフォン、パソコンの活用状況【複数回答】

本市独自の項目で、スマートフォン（スマホ）、パソコンの所持状況や利用状況について調査を行いました。

スマートフォン、パソコンの活用状況については、「メール、LINEなどで家族や知人などと交流している」が67.1%で最も高く、次いで「インターネットで情報を入手している」が49.6%、「インターネットショッピングなどを利用している」が25.5%となっています。なお、「スマホ・パソコンなどの機器を持っていない」は11.1%となっています。



《参考》

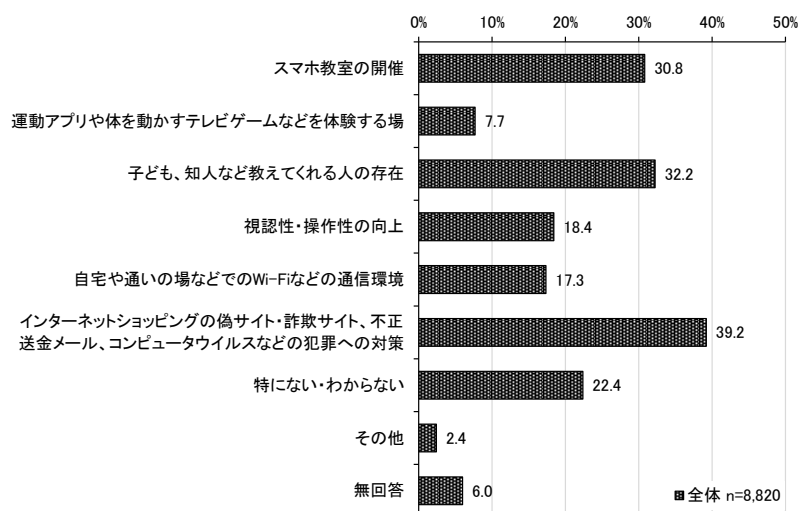
(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
インターネットで情報を入手している	43.8	49.6	5.8
メール、LINE(ライン)などで家族や知人などと交流している	58.7	67.1	8.4
X(エックス※旧Twitter(ツイッター))、Facebook(フェイスブック)、Instagram(インスタグラム)などのSNSを活用している	6.4	10.1	3.7
インターネットショッピングなどを利用している	19.8	25.5	5.7
ほとんど活用していない(スマホ・パソコンなどの機器を持っている)	16.5	15.4	△ 1.1
スマホ・パソコンなどの機器を持っていない	20.4	11.1	△ 9.3
その他	0.8	2.4	1.6
無回答	3.4	3.5	0.1

(2) スマートフォン、パソコンを一層活用するために必要なこと【複数回答】

本市独自の項目で、スマホ、パソコンを利用するにあたってどのような支援が必要であるか調査しました。

スマートフォン、パソコンを一層活用するために必要なことについては、「インターネットショッピングの偽サイト・詐欺サイト、不正送金メール、コンピュータウイルスなどの犯罪への対策」が39.2%で最も高く、次いで「子ども、知人など教えてくれる人の存在」が32.2%、「スマホ教室の開催」が30.8%となっています。なお、「特にない・わからない」は22.4%となっています。



《参考》

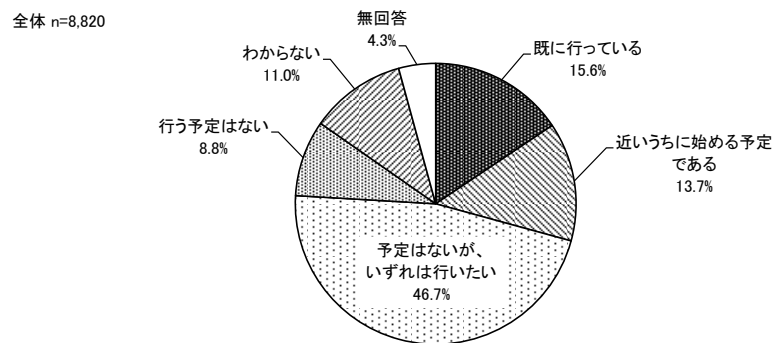
(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
スマホ教室の開催	32.8	30.8	△ 2.0
運動アプリや体を動かすテレビゲームなどを体験する場	7.2	7.7	0.5
子ども、知人など教えてくれる人の存在	29.9	32.2	2.3
視認性・操作性の向上	17.9	18.4	0.5
自宅や通いの場などでのWi-Fi(ワイファイ)などの通信環境	17.3	17.3	0.0
インターネットショッピングの偽サイト・詐欺サイト、不正送金メール(架空請求)、コンピュータウイルスなどの犯罪への対策	33.4	39.2	5.8
特にない・わからない	24.9	22.4	△ 2.5
その他	1.0	2.4	1.4
無回答	7.3	6.0	△ 1.3

6 終活について

(1) 終活の取り組み状況

本市独自の項目で、終活の取り組み状況について調査しました。
終活の取り組み状況については、「予定はないが、いずれは行いたい」が46.7%で最も高く、次いで「既に行っている」が15.6%、「近いうちに始める予定である」が13.7%となっています。



《参考》

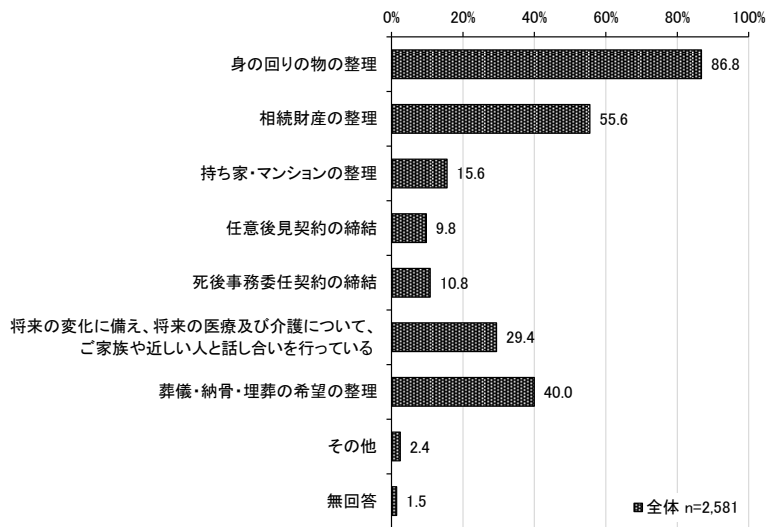
(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
既に行っている	16.0	15.6	△ 0.4
近いうちに始める予定である	12.6	13.7	1.1
予定はないが、いずれは行いたい	47.0	46.7	△ 0.3
行う予定はない	9.4	8.8	△ 0.6
わからない	10.9	11.0	0.1
無回答	4.1	4.3	0.2

（２）終活の内容【複数回答】

本市独自の項目で、どのような終活をおこなっているか、または行う予定であるか調査しました。

終活の内容については、「身の回りの物の整理」が 86.8%で最も高く、次いで「相続財産の整理」が 55.6%、「葬儀・納骨・埋葬の希望の整理」が 40.0%となっています。



《参考》

(%)

	前回調査	今回調査	差
	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
身の回りの物の整理	88.8	86.8	△ 2.0
相続財産の整理(遺言書の作成、生命保険証書や印鑑・通帳の保管場所の整理、生前贈与なども含む)	53.9	55.6	1.7
持ち家・マンションの整理(売却など)	8.6	15.6	7.0
任意後見契約(認知症などにより判断能力が不十分になったときに、本人に代わって契約や財産管理を行ってもらう人を前もって決めておく契約)の締結	7.7	9.8	2.1
死後事務委任契約(亡くなった後の諸手続き、葬儀、納骨、埋葬に関する事務等についての代理権を付与して、死後事務を委任する契約)の締結	8.2	10.8	2.6
将来の変化に備え、将来の医療及び介護について、ご家族や近い人と話し合いを行っている(例：介護が必要となったとき施設への入所を希望するか、回復が難しくても延命を希望するかなど)	25.9	29.4	3.5
葬儀・納骨・埋葬の希望の整理	38.7	40.0	1.3
その他	1.8	2.4	0.6
無回答	1.2	1.5	0.3